

市議会だより

No.208

平成30年2月10日発行

編集/発行

福井市議会だより編集委員会

福井市大手3丁目10番1号

TEL.0776-20-5506



平成29年11月12日 姉妹都市米国ニューブランズウィック市のケーヒル市長をはじめとした市民訪問団が来福し、奥島議長を表敬訪問しました。



平成29年10月5日 ニューブランズウィック市訪問の様子(詳細は2ページ)



ニューブランズウィック市の街並み



福井藩の日下部太郎が学んだラトガース大学の構内(ニューブランズウィック市)

特集記事

■ 姉妹友好都市交流事業

ニューブランズウィック市・2ページ
結城市……………3ページ

■ 委員会活動報告

……………4ページ

■ 国体・障スポに向けて

……………5ページ

12月
定例会(11月27日～12月19日)

市長提出の議案46件、
報告3件を審議しました

↓ 主な議案は6ページ
↓ 審議結果は14～15ページ

請願2件を審議しました

↓ 審議結果は15ページ

議員提出議案2件を
審議しました

↓ 主な議案は6ページ
↓ 審議結果は15ページ

議員23人が一般質問を
行いました

↓ 詳細は8～13ページ

姉妹友好都市交流事業

福井市は、国内外6つの都市と姉妹都市または友好都市の提携を結び、さまざまな分野で協力・交流を行っています。市議会でも、平成29年に姉妹都市提携35周年を迎えた米国ニューブランズウィック市、友好都市提携15周年を迎えた茨城県結城市を訪問し、交流事業を行いましたのでご報告します。



ニューブランズウィック市

ニューブランズウィック市の概要



ニューブランズウィック市は、ニューヨークの南西約50kmに位置する緑豊かな学園都市です。

アメリカ独立宣言の10年前である1766年に創立

されたラトガース大学をはじめ16の学校があり、人口の約半数を学生が占めています。

また、ニューヨーク、フィラデルフィア、ワシントンなどの大都市を結ぶ要衝の地にあり、鉄道やハイウェイなどの交通網が発達しています。議会は、議決権及び議案権、行政へのチェック機能を有するなど、日本と似通った制度となっています。

姉妹都市締結の経緯

1867年、福井藩初の海外留学生として渡米し、ニューブランズウィック市のラトガース大学で学んだ日下部太郎は、日夜勉強に励み大変優秀な成績を修めましたが、過労から結核を患い、26歳(数え年)の若さで志半ばに亡くなりました。当時日下部を指導したウィリアム・E・グリフィスは、その友情に報いるため福井行きを決断し、福井藩の藩校だった「明新館」で教鞭をとりました。

その約100年後の1974年、郷土史を研究していた福井青年会議所のメンバーが、日下部太郎の足跡を訪ねるために渡米したことを契機として再び交流が始まり、1982年に両市は姉妹都市盟約書への調印を行いました。



日下部 太郎



グリフィス

交流事業報告

平成29年10月4日から8日まで、福井市議会訪問団5名が、行政訪問団とともに姉妹都市提携35周年の交流事業に参加するため、ニューブランズウィック市を訪問しました。

最初に、福井市とニューブランズウィック市が姉妹都市提携を結ぶきっかけとなった日下部太郎をはじめとした、留学中に亡くなった日本人学生のための法要に参列しました。法要にはニューブランズウィック市のケーヒル市長も参列され、私たち議員も遠い異国の地で亡くなられた若者達のことを思い浮かべながら、追悼させていただきました。

次に、ラトガース大学を訪問しました。この大学は、日下部太郎が留学中に学業に励んだ場所であり、約6万人の学生を有する米国有数の大学の一つです。ここでは、附属する美術館でジャポニズムの影響を受けた19世紀末以降のアメリカやヨーロッパの美術作品、福井県や福井市及び福井大学が協力して設置した日下部太郎とグ



リフィス関連の展示がある日米友好のギャラリーを視察し、2人の交流についての理解を深めました。

さらに、大学附属の図書館において学芸員の方から2人に関する講義を受け、また、グリフィスが日本滞在中に記した日記や書簡、収集した資料などを視察しました。

また、交流事業の一環として、初日は姉妹都市委員会の委員であるラップリング夫妻宅での夕食会に招かれ、アットホームな雰囲気の中で米国の家庭料理によるおもてなしを受けました。2日目には宿泊先のホテルにおいて、総勢150名ほどが集まる記念式典が開かれ、和やかな雰囲気の中で意見交換などを行いました。

この姉妹都市交流事業を通して、日下部太郎の留学を契機とした両市の深い繋がりを再認識することができました。グローバルな市民社会、個人、自治体間のつながりは、地域社会にとって大いに役立つだけでなく、日本と海外との相互理解を深め、草の根レベルの信頼関係を構築する上でも重要な意味を持ち、今後もこの姉妹都市交流を大切にしていかなければならないと感じました。

結城市

結城市の概要



結城市は、茨城県の西北端の県境に位置し、栃木県小山市に隣接しています。鎌倉時代に結城朝光がこの地に築城して以来、結城家歴代の城下町として栄え、結城紬(つむぎ)の特産地として発展してきました。

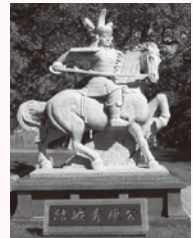
今でも市内には神社・寺院等が点在し、町並みには土蔵も見られ、城下町のなごりを残しています。

また、古くから農業が盛んで、米穀をはじめ、白菜・レタス・トマト等の露地野菜など、多くの農産物が生産されています。

友好都市締結の経緯

徳川家康の次男秀康は、1590年、北関東の名家結城氏の養子になると、結城秀康と名乗り、現在の結城市にあたる結城領を治めました。関が原の戦いの後、秀康は越前北ノ庄に国替えされ、初代藩主として、現在の福井市とその周辺を治めました。

このような歴史的つながりをきっかけとして、市民による交流が行われてきました。平成12年12月には民間組織による福井結城会が発足し、また、平成13年7月には結城秀康公の越前入国400年を迎えたことを契機に両市の交流はさらに深まり、平成14年に友好都市提携の締結を行いました。



結城 秀康像
(所在地:福井県庁舎前広場)

交流事業報告

平成29年10月27日から28日まで、福井市議会訪問団10名が、友好都市提携15周年の交流事業に参加するため、茨城県結城市を訪問しました。

まず結城市役所で、結城市議会の秋元議長、稲葉副議長並びに前場市長、河田副市長を表敬訪問しました。秋元議長からは、「ロータリークラブや子ども親善大使の交流、さらに近年では啓蒙地区で結城秀康を題材にした子供劇を文化祭で発表するなど市民交流が盛んになってきており、これからも市政繁栄のため、さらに友好を深めていきましょう」というお言葉をいただきました。



その後の市内視察では、まず結城紬の館を視察し、その長い歴史の重みを知るとともに、全工程が手作業で行われ時間のかかる大変貴重なものであるとの説明を受けました。機械化された絹織物工業が根付いた福井市との対比が非常に興味深く感じられました。

次に訪れた結城蔵美館では、幻の名槍「お手杵の槍」の復元を視察し、この槍がアニメゲーム「刀剣乱舞」で大ブームとなり、イベントでは約3,000人の若い女性ファンが集まったとの説明を受けました。このように多様な観点から観光資源を見つけ、まちづくりや観光政策に生かすことは、本市にも必要であると思いました。



翌日は「祭りゆうき2017」を視察しました。昨年の入込客数は約45,000人で、結城市の人口約53,000人を考えると非常に大規模な祭りであり、その会場の広さとブースの多さに感心しました。また、エコ活動として、市内の中学生と高校生が会場内で発生したゴミの分別や清掃活動をボランティアで行っており、今後の催事の参考となりました。

なお、訪問中は結城市長や副市長、結城市議会議員の皆様と、まちづくりや企業誘致、また、観光政策や議会改革、さらには市庁舎移転の問題など、さまざまな市政の課題について意見交換を行いました。今後も議会や行政同士の交流を深めるとともに、市民交流にも積極的に関わっていきたいと思います。



委員会活動報告



建設委員会

日程：平成29年10月24日(火)～25日(水)

活動先：大阪府吹田市「市営住宅建替事業について」
兵庫県西宮市「空き家対策について」

建設委員会では、吹田市の「市営住宅建替事業」並びに西宮市の「空き家対策」について、取り組み状況や現況を調査しました。

吹田市では、公営住宅等長寿命化計画に基づき、老朽化が進む市営住宅の居住水準の向上と住環境の整備に取り組んでいます。今回調査した「新佐竹台住宅集約建替事業」は、民間の資金と経営能力・技術力を活用したPFI手法(公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を民間の資金や能力を活用して行う公共事業)を採用し、5つの市営住宅を1カ所に集約しました。

福井市においても市営住宅の老朽化が進み、建替えや長寿命化を進めていますが、資金調達には工夫が必要となっています。また、平成28年12月に「福井市PPP/PFI導入基本方針」を策定しており、今後どのような事業で採用できるか検討、議論されるものと考えています。



▲大阪府吹田市

西宮市では、若い世代を中心に高い住宅需要がある一方、北部地域を中心に空き家の急増が予測されていることから、空き家対策のための各種制度を設けています。その中で一般社団法人移住・住みかえ支援機構と連携したマイホーム借上げ制度について、福井市にはない制度として着目しました。しかし、各種制度にはさまざまな課題があり、市民に広く活用されるまでには至っていないようでした。

今回の調査で得た知見は、これからの福井市の発展と市民生活の向上に寄与できるものであり、今後も調査研究を深め議会活動に活かしてまいります。



競輪事業対策特別委員会

日程：平成29年9月28日(木)～29日(金)

活動先：立川競輪場「要請活動及び行政視察」
(東京都立川市)

静岡競輪場「要請活動及び行政視察」
(静岡県静岡市)

競輪事業は、戦後の復興を遂げつつある昭和24年頃から全国の各都市で開催されるようになり、多くの市民に愛されてきました。しかし、近年では競輪場に足を運ぶ人の数は激減し、売り上げも減少しており、その存在意義が問われています。

議会では今一度、競輪事業のあり方を議論し、どうしたら存続していけるのか、福井市にはまだ必要なのか、福井市の会計の下支えの一翼を担えるのかなどについて検討してきました。その中で、関東の競輪場に本市が開催する競輪の単独での場外発売に協力していただくことを当面の目標として、活動していくことになりました。



▲静岡競輪場

そこで、全国でも屈指の売り上げを誇る立川競輪場と静岡競輪場に山田副市長、商工労働部長、公営競技事務所長及び競輪事業対策特別委員会の委員等が出向き、本市が開催するFIグレード競輪の場外販売の受託について要請活動を行いました。また、競輪事業及び施設についても説明を受けました。

さらに、11月と12月にも関東各地の競輪場に出向き、場外販売受託の要請活動を行いました。

今後も福井市の競輪事業の存続と発展のため、行政と協力し要請活動に取り組んでまいります。

国体・障スポに向けて

「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会の開催がいよいよ間近に迫ってきました。今回は、国体・障スポを成功させるための課題や、市民の皆さんも参加できる取り組みなどについてご紹介します。

国体・障スポの成功に向けてー見えてきた課題ー

昨年6月から11月にかけて開催した国体競技別プレ大会が終了し、会場設営や来場者の動線をはじめ、運営に携わった業務内容を確認することができ、国体に向けての課題も見つけることができました。

特に、一部の競技において天候不順による日程の変更等もあり、迅速な情報の発信は大変重要であることがわかりました。

市議会としても、議員一人ひとりが知恵を絞りながら、国体の成功に向け、行政と一丸となって取り組んでいきます。



テニス競技の会場設営の様子

テニス競技のプレ大会で福井市が優勝しました!



成功のためには、市民の皆さんの力が必要です!

福福応援団 みんなで福井市国体・障スポを盛りあげよっさ! 大募集!

「国体に関係することを何かしてみたい...」「福井国体を盛り上げたい!」「楽しいことがしたい!」など、そんな思いを抱いているあなたに朗報です!

あなたもつるつるいっぱいのおもてなししてみませんか?

下のメニューの中から「これならできる!」というものを選んで参加してもらっただけ♪

※福井市に在住するか、通勤・通学する人、又は福井市を拠点に活動するグループ・団体で5名以上の応募となります。

応援団参加メニュー

- 手作り記念品応援メッセージ*
- SNS投稿
- 今日のハピドリ!の写真提供
- 国体PRイベント参加
- 花いっぱい運動への参加
- ボランティアへの登録
- はびねずダンス・体操・音頭の披露
- 福井市開催競技の観戦

*は必須項目

福福応援団に参加していただいた方には
応援団の限定グッズをプレゼント!!!!

「1市民1参加」で盛り上げましょう!

参加にもいろいろな方法があります。国体イベントで競技を体験「する」、会場で競技を「見る」、ボランティアや国体を盛り上げる活動に参加し「支える」など、市民の方お一人おひとりがささやかでもいいので参加し、国体に関わっていただくことが重要です。

どんな活動があるのか、聞いてみることから始めてみませんか?



「ボランティア」
競技会場で従事するボランティアの方を募集しています。
(写真はドリンクサービス)



「花いっぱい運動」
競技会場等に設置する花を市民の方にプランターで育てていただいています。



ボランティアの申し込みや「福福応援団」への応募など、国体・障スポに関するお問い合わせは
国体推進部国体企画室 (0776) 50-2503 までお願いします。



主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、14～15ページに掲載しています。

各会計決算の認定

9月定例会において決算特別委員会に付託され、継続審査となっていた平成28年度各会計（一般・特別・企業）決算の認定等について審査するため、10月10日に委員会を開催しました。審査の結果、付託された各

会計決算の認定等について、いずれも原案どおり可決及び認定しました。
(各会計決算は左記の表参照)

平成29年度補正予算

今回の補正予算は、一般会計で2億9,491万3,000

円を増額するなど、補正後の予算額は全会計で2,147億9,534万7,000円となります。

○**一般会計補正予算**
民間主導型の優良建築物の整備に対して支援を行う「市街地再開発事業等支援事業」、福井しあわせ元気大会に向けて、市内の宿泊施設が実施するバリアフリー工事費用の一部を助成する「宿泊施設バリアフリー整備事業」、平成29年の台風第5号、台風第18号により被

災した農地及び農業用施設の復旧を行う「農業施設災害復旧事業」、経済的な理由により就学が困難な児童生徒への新入学援助費を増額する「要・準要保護児童生徒就学援助事業」などに2億9,491万3,000円を計上するものです。

条例

○**福井市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について**

平成30年4月1日から、中学校3年生までの子どもを対象に、医療費の助成方法を窓口無料化（自己負担分を除く。）に変更するものです。

○**福井市自転車競走実施条例の一部改正について**

福井市が行う競輪を、福井競輪場以外の競輪場においても開催できるようにするものです。

○**福井市国見岳森林公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について**

福井市国見岳森林公園の施設を見直すとともに、施設の管理及び運営を直営とするものです。

人事案件

○**教育委員会委員**

平成29年12月23日に任期満了となる委員の後任として、多田和博氏を任命することに同意しました。

○**公平委員会委員**

平成29年12月23日に任期満了となる委員の後任として、益永哲郎氏を選任することに同意しました。

市会案（議員提出議案）

〈**条例**〉

○**福井市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について**
議員の期末手当を引き上げる改定を行うものです。

〈**意見書の提出**〉

地方自治法第99条の規定により、次の意見書を内閣総理大臣ほか、関係機関に提出しました。

○**道路整備に係る補助率等の特別措置の継続及び道路整備予算の確保を求める意見書について**

平成28年度 一般会計・特別会計決算総括表 (単位:円)

会計区分	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	111,421,107,691	110,138,396,924
国民健康保険	28,124,593,956	29,909,359,943
国民健康保険診療所	2,276,963	2,194,175
後期高齢者医療	3,073,794,687	3,070,678,922
介護保険	23,772,510,168	23,387,985,864
競輪	11,499,127,802	11,319,624,641
簡易水道	351,154,396	350,874,904
宅地造成	3,701,790,697	3,388,901,322
中央卸売市場	831,401,565	831,113,205
駐車場	220,616,297	220,552,062
集落排水	843,354,413	843,312,026
地域生活排水	177,378,585	172,509,885
福井駅周辺整備	1,194,435,385	1,194,351,018
合計	185,213,542,605	184,829,854,891

平成28年度 企業会計決算総括表 (単位:円)

会計	区分	収入	支出	収支
下水道事業	収益的収支	9,394,062,925	8,540,831,715	853,231,210
	資本的収支	5,757,984,340	8,223,196,664	△ 2,465,212,324
ガス事業	収益的収支	2,735,182,881	2,335,016,779	400,166,102
	資本的収支	281,050,733	1,161,554,524	△ 880,503,791
水道事業	収益的収支	4,796,458,566	4,016,840,650	779,617,916
	資本的収支	1,186,394,053	3,710,684,538	△ 2,524,290,485

- 収益的収支: (料金収入等) - (サービスの提供に必要な経費等)
- 資本的収支: (企業債等) - (建設改良費や企業債元金償還金等)
- 各企業会計の資本的収支における不足額は、損益勘定留保資金、消費税資本的収支調整額などで補てんしています。
- 消費税を含む金額です。

委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介します。
(日程順に掲載)

決算特別委員会

《農林水産施設災害復旧費》

問 災害発生後の復旧にかかる費用負担は国、県、市でどのように決められているのか。

答 林道の災害復旧については、大規模災害時は農林水産施設災害復旧事業費、国庫補助の暫定措置に関する法律(暫定法)によって国の補助率が決まる。暫定法が適用されない場合は県の補助を受けるなどしており、昨年度の復旧事業では県から50%の補助を受け実施した。

《介護保険特別会計》

問 平成28年度の居宅介護サービスは、前年度と比較し利用者が増加する一方で給付費は減少し、また、地域密着型介護サービスは、前年度と比較し利用者、給付費ともに増加している。これらの原因をどのように考えているのか。

答 介護サービス全体としては、平成27年度に介護報酬のマイナスの改定が行われたことや、一部の利用者の自己負担が1割から2割になったことから、利用者の伸びの割には給付費が伸びていない。地域密着型介護サービスについては、事業者が増え、サービスが利用しやすくなっていることから、利用者、給付費ともに伸びていると考えている。

《宅地造成特別会計》

問 北部第七、市場周辺、森田北東部各地区の保留地売却率及び森田北東部地区の換地処分の時期は。

答 平成29年9月末現在の保留地売却率は北部第七地区が94.4%、市場周辺地区が97.9%、森田北東部地区が65.3%である。また、森田北東部地区の換地処分は平成30年度末を予定している。

競輪事業対策特別委員会

《営業活動の実績及び予定》

問 これまで特別委員会をはじめとして議員が競輪事業の営業成績を上げるため、各地の競輪場を訪問し、場外発売の依頼を行っているが、施行者の代表者である首長に要請するフォローは行っているのか。

答 首長への要請については、機会を採っているところであるが、現在のところ実施できていない。今後、要請の機会を設けていきたいと考えている。

《ミッドナイト競輪の開催》

問 福井市が奈良競輪場を借り上げてミッドナイト競輪を開催する場合、試算では1開催当り約2,000万円の赤字が見込まれ、現在日中にFIIグレードを通常開催する場合、約3,000万円の赤字であることから、約5,000万円の収支改善効果があるとの報告があったが、収支の試算は何をもとに行ったのか。

答 現在ミッドナイト競輪を実施している奈良競輪場の平成28年度の平均売上額から算出した。

総務委員会

《福井市マイドーム清水及び福井市農園施設マイファーム清水の指定管理者の指定》

問 これまでの当該施設の管理運営実績を踏まえ福井市シルバー人材センターを選定したとのことだが、これまでの自主事業の開催実績はどのようなものか。

答 昨年度の主な実績として、そば打ち体験会を19回開催し、219人が参加している。また、有機栽培講習会を6回開催し、165人が参加している。

要望 継続的に開催され、人気もあると聞いているので、今後も利用者の要望にこたえられるような企画運営を続けてほしい。

建設委員会

《市街地再開発事業等支援事業》

問 補助対象となる複合ビルの店舗エリア及び共同住宅の規模は。

答 複合ビルの1階及び2階は店舗、3階から14階までは約70戸分の共同住宅が入る計画である。

問 どういった費用を補助対象としているのか。

答 事業計画の作成や地盤調査などに要する調査設計計画費や、補償、取り壊し除却費、土地の整備費、階段や玄関フロアなど共同施設の整備費を補助対象としている。

教育民生委員会

《福井市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正》

問 子ども医療費の窓口無料化の実現に時間を要した理由は何か。

答 国民健康保険の国庫負担の減額調整措置や県との調整が必要であったことが、時間を要した原因である。

経済企業委員会

《農業施設災害復旧事業及び林業施設災害復旧事業》

問 台風第5号及び台風第18号による被災から数カ月経過しており、速やかな復旧が必要と思われるが、修正予算を専決処分で執行する等の迅速な対応はできなかったのか。

答 本事業は台風第5号及び台風第18号による被害の復旧事業のうち、国庫補助の対象事業であるが、国の査定が、台風第5号による復旧事業は先般完了し、台風第18号については12月に行われる予定であることから、今定例会に修正予算議案として上程した。小規模なものについては予備費を充当し先に対処している。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、12月4日から6日までの3日間、23人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

(敬称略)

<p>① 皆川 信正 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ガス事業の民営化について 2 総合交通について 3 JR越前花堂駅前広場について 4 運転免許自主返納者に対する支援策について 5 福井市文化会館について 	<p>② 伊藤 洋一 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 台風第21号の被害状況、復旧策について 	<p>③ 堀川 秀樹 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中核市に移行することにより特色あるまちづくりを目指す福井市が考える「ふくい」の強みや個性を生かした施策について 2 就労系サービス事業所における監査実施、指導、サービス提供、職員多忙化、相談支援専門員等の問題点について 3 子どもの貧困対策の推進に関する法律の施行後の実態調査の問題点について
<p>④ 島川 由美子 (公明党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 防災・減災対策について 2 自殺対策について 3 SNSを活用したいじめ相談窓口について 	<p>⑤ 八田 一以 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国民健康保険について 2 介護保険について 	<p>⑥ 石丸 浜夫 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国土強靱化地域計画の取り組みについて 2 殿下地区支援策について
<p>⑦ 吉田 琴一 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 福井国体に向けての対応について 2 中央卸売市場について 3 鳥獣駆除に係る交付金について 	<p>⑧ 西村 公子 (日本共産党議員団)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国民健康保険事業の県単位化について 2 医療費助成制度の拡充について 3 福井市文化会館の新築、移転について 4 弾道ミサイルを想定したJアラート訓練について 	<p>⑨ 水島 秀晃 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 林業支援の取り組みについて 2 未来につながるふくい魅える化プロジェクトについて 3 福井市文化会館について
<p>⑩ 菅生 敬一 (公明党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 第48回衆議院議員総選挙について 2 所有者不明土地問題について 3 文化振興政策について 4 改正障害者雇用促進法に基づく福井市の取り組みについて 	<p>⑪ 後藤 裕幸 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 福井しあわせ元気国体開催準備状況について 2 足羽山公園再整備について 	<p>⑫ 鈴木 正樹 (日本共産党議員団)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 介護保険事業について 2 大飯原発再稼働と再生可能エネルギー普及への取り組みについて 3 感染性廃棄物保管施設の市内の設置について 4 池田中学校の生徒の自殺と教員の多忙化の問題について 5 子どもの貧困の実態と対策について
<p>⑬ 堀江 廣海 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教育について 2 交通とまちづくりについて 	<p>⑭ 瀧波 滋 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 足羽山へのアクセス・移動について 2 福井国体までの告知・表示について 3 フェニックス通りについて 4 福井鉄道への支援スキームについて 	<p>⑮ 村田 耕一 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本市の施策推進における情報通信技術の活用について 2 本市の教育行政について
<p>⑯ 福野 大輔 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 水道事業について 2 空き家対策について 	<p>⑰ 近藤 實 (無所属(青空の会))</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 福井市人口の見通しと対策について 2 財政(平成28年度決算)について 3 給与、期末手当等の改定(人事院勧告)について 4 水道・下水道事業の統合について 5 下水道事業の支払利息の見通しについて 6 資本的収入が資本的支出に不足する場合の補填財源について 7 結婚についての教育、意識啓発について 	<p>⑱ 池上 優徳 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 街頭防犯カメラの設置について 2 森林環境教育について
<p>⑲ 泉 和弥 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域未来投資促進法について 2 地域コミュニティの活性化について 	<p>⑳ 加藤 貞信 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 第七次福井市総合計画推進に向けた各種取り組みについて 2 本市における公金の管理・運用について 3 「サクラマスの聖地」九頭竜川の活用について 	<p>㉑ 見谷 喜代三 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 福井市西部の振興策及びアクセスについて 2 福井市の平成30年以降の米の生産調整について
<p>㉒ 中村 綾菜 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高齢者が生き生きと輝き、子育て世代や障がい者等が共生する地域づくりについて 	<p>㉓ 田中 義乃 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 北陸新幹線福井開業アクションプランについて 	

一般質問要旨



みながわ のぶまさ

皆川 信正 議員

一真会

運転免許自主返納者に対する支援策について

質問

高齢者の運転免許自主返納を促進するため、返納する方に対する福井市独自の支援策を改めて考えるべきではないか。

回答

運転免許自主返納者にはバス回数券の交付等を行ってきたが、平成30年1月から新たに、本市独自で電車利用への支援を行う。バス回数券2,000円分、福井鉄道の乗車券購入補助券2,000円分、えちぜん鉄道の普通乗車券と1日フリーきっぷが3年間2割引になる割引証の3つの中から選ぶことができるようにし、選択肢を増やすことで支援内容を拡充する。

今後、免許返納者や交通弱者などの多様なニーズに応えるため、より利便性の高い公共交通サービスの提供に努めていく。



いとう よういち

伊藤 洋一 議員

志政会

台風第21号の被害状況、復旧策について

質問

10月23日に東日本を縦断した超大型の台風第21号は23日未明から朝方にかけて福井市に最も接近し、甚大な被害をもたらした。本市には都市公園が約500カ所あるが、公園内の樹木の被害状況、復旧状況、また、今後復旧しなければならぬ箇所はどのくらいか。加えて街路樹の被害状況と復旧状況、進捗状況等は。

回答

本市の公園では495本の倒木及びそれによるフェンスやガードレールの破損、公園灯6基の倒壊があった。倒木の撤去は八幡山の5本以外は完了しており、フェンス及びガードレールは平成29年中に、公園灯は年明けに復旧する予定である。街路樹は83本の倒木があり、被災3日後までに全て撤去した。そこには、倒木した樹種と同じ樹木の補植を予定している。



ほりかわ ひでき

堀川 秀樹 議員

市民クラブ

子どものための総合的
地域サポートについて

質問

子ども食堂を開設し、食事の提供をはじめ世代間交流、子どもの健康状態や虐待の確認、学習指導といった総合的地域サポートに取り組みうとしていく団体の声が届く仕組みが必要と考えるが、情報の収集と提供方法をどのように考えているか。

回答

本市では地域における取り組みは公民館単位で行われることが多く、世代間交流や地域コミュニケーションづくり、ネットワークに関する活動などがある。市ではこれらの取り組みに対し、関係する所属が窓口となり、随時相談に応じ、必要ならば市民活動を支援する所属とも連携し、対応している。子ども食堂は課題もあるが、意義ある活動と考えているので、関係所属とも連携し、実態把握に努め、必要な支援につなげていく。



しまかわ ゆみこ

島川 由美子 議員

公明党

SNSを活用したいじめ
相談窓口について

質問

現在、本市で行われている相談体制は、子どもたちの生活実態と大きく乖離しているのではないかと考える。SNSを利用したいじめ相談窓口を開設する自治体が全国に広がっているが、いじめの早期発見のため、本市でも開設してはどうか。

回答

国が取りまとめた「SNSを活用した相談体制の構築に関する当面の考え方(中間報告)」によると、試行的に一部の学校や地域で相談業務を実施し、その結果を検証した上でモデル事業を実施するとしている。一部の事業者や自治体においては、SNSを用いた相談受付の取り組みが始まっているが、問題点や課題も挙がっているため、本市では国や県、他自治体の動向等を見ながら慎重に検討していく。



はった いちい

八田 一以 議員

一真会

国民健康保険について

質問

平成30年4月から、国民健康保険は福井県が財政運営の主体になるが、移行のスケジュールはどのようになっているのか。また、保険税額は上がるのか。

回答

今後、県の仮算定結果を参考に、福井市国民健康保険運営協議会で、平成30年度の税率等の具体案について審議検討される。平成30年1月に県が本算定を行い納付金等が確定するので、2月にそれらを踏まえた最終案を協議会に示し、答申を受ける。その後、3月定例会で平成30年度当初予算及び新しい税率を定める市税賦課徴収条例改正案を提案する予定である。

また、保険税額は現在、課税総額に占める所得割や均等割、平等割の割合など必要な事項の精査を行っており、慎重に検討していく。



いしまる はまお

議員
石丸 浜夫

志政会

**国土強靱化地域計画の
取り組みについて**

質問

国は近年多発する大規模自然災害等に対して、国土強靱化基本計画を定めることとしているが、本市では国土強靱化についてどのように考えているのか。また、本市の国土強靱化地域計画の概要と国からの支援は。

回答

どのような災害が起こっても機能不全に陥らず、いつまでも元気であり続ける強靱な地域を作り上げるため、福井市国土強靱化地域計画を策定し、全庁を挙げて各種施策に取り組んでいく。

この計画は、地域防災計画など各種計画の上位に位置付けており、強靱化に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための指針となる計画である。また、国からは策定した自治体に対し、交付金、補助金による支援が講じられる。



よした きんいち

議員
吉田 琴一

市民クラブ

中央卸売市場について

質問

国の卸売市場改革に伴う規制改革推進会議の提言がまとめられたが、本市の中央卸売市場の役割をどう評価しているのか。

また、43年が経過した中央卸売市場の改修・改築計画は。

回答

中央卸売市場は、生鮮食品の中核的な流通拠点としての役割を担う県内唯一の中央市場であり、安全・安心な生鮮食料品等を市民に安定供給するという公的役割を果たしてきたと認識しており、今後も継続する必要があると考える。

市場施設の老朽化への対応については、福井市公共施設等総合管理計画に基づき、劣化状況などを見極めた上で適切な改修と修繕を行い、施設の長寿命化に取り組んでいる。



にしむら きみこ

議員
西村 公子

日本共産党議員団

**新しい文化会館の大ホール
2,000席は大きすぎる
ので見直しを**

質問

文化会館の新築について策定委員会の議論では大ホールを2,000席にするとまとめられている。2,000席では大きすぎるという利用者などの声が多くあることから、文化会館関係者などの声を聞き、見直すべきではないか。

また、施設の運営は福井市の文化芸術関係者が中心になるべきではないか。

回答

策定委員には長年舞台芸術に携わっている方もおり、専門的立場からの意見をいただいている。

また、市民ワークショップの意見を参考にし、年中無休や利用時間の柔軟な対応、練習室の時間単位の利用を検討することが承認された。今後市民が利用しやすい施設となるよう運営に配慮していく。



みずしま ひろたか

議員
水島 秀晃

志政会

福井市文化会館について

質問

東公園に大ホール2,000席ほどの施設を建設する場合、必要と思われる駐車場の台数は何台か。

また、文化会館に來場する方の車による交通渋滞の緩和策について、市の見解は。

回答

駐車場については、文化会館の利用者の利便性や、まちなかのにぎわいづくり、周辺環境への影響等を考慮しながら、今後、基本設計や実施設計の過程において概要を示したいと考えている。

渋滞緩和策については、駐車場整備と併せて関係機関や関係部局と十分協議、検討し、市民や議会、周辺住民に説明を行いながら進める。



すこう けいいち

議員
菅生 敬一

公明党

文化振興政策について

質問

地域の高齢化や若者の流出、子どもの減少でやむなく中止になる行事が増えていることから、伝統文化や伝統行事などの無形文化を映像や文書として記録保管していく必要があると考えるが、福井市郷土歴史博物館の「ふくいの歴史アーカイブス」に新しく加えてはどうか。

回答

本市では国・県・市指定の無形民俗文化財9件の後継者育成に対する取り組みへの支援や、歴史遺産のホームページにおける伝統芸能を含む文化遺産情報の多言語での公開など、普及に努めている。

平成19年度から22年度にかけて映像や写真を記録し、保管しており、保存団体等の理解を得ながら福井市郷土歴史博物館の「ふくい歴史アーカイブス」等で保存し、歴史遺産として後世に継承していく。



ごとう ひろゆき

後藤 裕幸 議員

志政会

足羽山公園再整備について

質問

足羽山魅力向上事業にあわせ、足羽川周辺、九頭竜川流域の治水・かんがい施設の整備や農業生産の増大等により、経済力や政治力を拡大した「越の大王」継体天皇の遺徳を敬慕し、功績を後世に伝えるために「足羽山公園の石像をライトアップし、県内外からの来訪者にアピールしてはどうか。

回答

現在の石像は、昭和23年の福井地震で倒壊し、二つに割れたものを、同27年の福井復興博覧会開催を機に修復したものである。

継体天皇像のある足羽山公園の三段広場からの眺望を楽しむことができるよう、障害となる樹木の伐採や剪定を行う予定もあることから、ライトアップについても検討する。



すずき しょうじゅ

鈴木 正樹 議員

日本共産党議員団

市独自の返さなくて良い給付型奨学金を

質問

先進国の中で大学などの学費が最も高いのが日本である。そのため低所得者の多くが、社会人としてのスタートにおいて多額の借金を背負うことを条件としなければ、まじめに職業を選ぶこともできない。市独自の給付型奨学金を作り支援を強化すべきではないか。

回答

返還を必要としない給付型奨学金制度は、現在、公益財団法人や各大学によって創設され、支援が広がっている。

また、国は平成30年度から大学、専門学校生を対象とした給付型奨学金を本格実施する予定であり、県は高校生を対象とした給付型奨学金制度を創設している。本市は独自の制度は設けませんが、相談支援の中で、各種制度の活用を促し、情報提供を行う。



ほりえ ひろみ

堀江 廣海 議員

一真会

主権者教育について

質問

平成29年の衆議院議員選挙における18、19歳の投票率はどのような結果であったか。
また、本市における主権者教育について、現在どのような取り組みがなされ、今後どのような方針で取り組むのか。

回答

18、19歳の投票率は、53.49%であった。市全体の投票率と比較して、18歳で約5ポイント、19歳で約27ポイント低い結果となった。

主権者教育は、県及び市町選挙管理委員会が、県内すべての高校と特別支援学校で18歳選挙権出前講座を実施している。また、本市独自に、小学生を対象に選挙出前講座を実施し、模擬投票なども行っている。

今後は、最初の選挙で投票に行くことが投票の習慣化につながるため、小中学生と高校生への啓発を重点的に行っていく。



たきなみ しげる

瀧波 滋 議員

志政会

足羽山へのアクセスについて

質問

本市は足羽山魅力向上計画に取り組んでいるが、フェニックス通りからのアクセスの案内、標識の整備や足羽山のおじさいの道の改修などの進捗状況は。

回答

足羽山公園に車で訪れる人が主に利用するフェニックス通りの北行き車線には、足羽山公園の案内標識が設置されていないことから、来園者の利便性向上のため、関係機関と設置に向け協議していく。

おじさいの道は足羽山の幹線園路であることから、安全対策として平成27年度から33年度にかけて改修する計画である。平成28年度末で、約1,400メートルの計画のうち約520メートルが完了している。また、ふた付き側溝についても、約1,300メートルの計画のうち約500メートルの布設が完了している。



むらた こういち

村田 耕一 議員

市民クラブ

本市の施策推進における情報通信技術の活用について

質問

本市において民間事業者等と協働で情報通信技術を研究するなどの考えはあるか。

また、今後市民サービスの向上を目指した情報通信技術の活用や取り組みをどのように進めていくのか。

回答

情報通信技術の豊富な資源やノウハウを有する民間事業者と協働して、新しい情報通信技術を活用した取り組みの研究を行うことは有意義であり、先進自治体の事例などを参考にしながら検討していく。

また、平成30年度から33年度を計画期間とする「福井市ICT利活用推進計画」を策定し、人工知能AIや、モノのインターネットと呼ばれるIoTも視野に入れ、新しい情報通信技術を活用した市民サービスの向上や業務の効率化に取り組んでいく。



ふくの だいすけ
福野 大輔 議員
一真会

空き家対策について

質問

空き家そのまま放置される理由として、土地に建物が存在している場合、固定資産税が優遇されることなどが挙げられる。

しかし、空家等対策の推進に関する特別措置法により勧告が通知されると、優遇対象から除外されることになっている。このことをもっと周知していくべきではないか。

回答

再三の指導文書の送付や訪問に対しても応答がない所有者に対しては勧告の実施も考えている。指導文書には勧告を受けると固定資産税の優遇から除外される旨を記載している。

空き家の適正管理を促すため、今後はホームページやチラシ配布など様々な手段を通じて、市民の方々に周知していく。



こんどう みのる
近藤 寛 議員
無所属(青空の会)

水道・下水道事業の組織統合について

質問

間もなく、水道料金は19.8%、下水道使用料は20%の料金改定(値上げ)の答申が出されるが、料金改定に先立ち、ぜひ、水道・下水道事業の組織統合を行ってほしい。

市民に多くの負担をお願いするのであれば、行政当局においても相応の努力が必要だと考えるがどうか。

回答

水道事業、下水道事業の組織統合については、サービスの向上や事業の効率化に向けた有効な手段の一つとして認識している。

12月中旬に、ガス事業のあり方検討委員会から、今後のガス事業のあり方について答申される予定である。今後、この答申内容を踏まえ、企業局と下水道部の組織のあり方について検討していく。



いけがみ まさのり
池上 優徳 議員
一真会

街頭防犯カメラの設置について

質問

「治安に関する県民意識調査2016」の結果や福井国体・障スポ、北陸新幹線福井延伸、インバウンド推進などを踏まえ、市民の安全・安心、子どもや女性に対する犯罪抑止のため、行政が主体となった街頭防犯カメラの設置が必要と考えるが、市の見解は。

回答

防犯カメラに記録された個人の画像は個人情報であるため、肖像権の侵害やプライバシー・保護等の取り扱いに十分留意し、地域住民の理解を得る必要がある。

また、犯罪発生率が高い地域や場所において活用を検討するなど、防犯カメラの設置・運用に当たっては、慎重な対応が必要となる。

今後、警察との連携を密にし、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めていく。



いずみ かずや
泉 和弥 議員
一真会

地域未来投資促進法に基づく企業立地について

質問

本市では、平成29年2月に福井市開発審査会附議基準を改正し、国道158号、416号沿道において農業振興地域からの除外や農地転用といった調整が整った場合に大規模な工場等の立地を可能としたが、地域未来投資促進法に基づく基本計画で設定された重点促進区域においても同様か。

回答

重点促進区域での企業の立地については、事業者が策定する地域経済牽引事業計画と、市が策定する農業振興地域からの除外や農地転用に係る調整を含む土地利用調整計画を県に提出し、審査を経て承認、同意を受けることにより、可能になる。

今後も企業の立地意向に対して、関係部局と十分な連携を図りながら対応していく。



かとう さだふ
加藤 貞信 議員
志政会

「サクラマスの聖地」九頭竜川の活用について

質問

九頭竜川中流域は、「サクラマス釣りの聖地」として全国的に有名で、県内外から大勢の釣り人が詰め掛けている。

そのほかにも、アユ釣りや天然記念物のアラレガコが生息するなど一年を通して楽しむことができる。これらの水産資源の確保に向けて、どのように取り組んでいるのか。

回答

水産資源を確保する取り組みとして、九頭竜川中部漁業協同組合は、毎年、稚アユ約100万尾をはじめ、サクラマスの稚魚も放流している。

また、県内産稚魚の確保のため、平成29年2月、九頭竜川中部漁業協同組合は、アユ、サクラマスの中間育成施設を建設した。

本市は、その建設費用や稚魚放流の経費に対する支援を行っている。



みたに きよぞう

見谷 喜代三 議員

一真会

福井市西部の振興策及びアクセスについて

質問

越廼、殿下地区などの市西部の観光振興や市民の安全・安心の確保のため、避難道路や中心市街地へのアクセス道路及び物流ルートとして、中部縦貫自動車道のような高規格道路の整備が有効だと考えるが、市の見解は。

回答

中心市街地と市西部を結ぶ幹線道路については、国道416号のバイパス整備と主要地方道福井四ヶ浦線の改良工事が現在実施されている。
都市間の連絡強化等の要件があるため、高規格道路としての位置づけは困難であるが、今後は福井四ヶ浦線のバイパス整備も視野に入れ、快適な走行性を確保するとともに、観光や産業の発展に寄与する道路の整備促進を引き続き国及び県に強く要望していく。



なかむら あやな

中村 綾菜 議員

市民クラブ

高齢者が生き生きと輝き、子育て世代や障がい者等が共生する地域づくりについて

質問

いきいき長寿よろず茶屋に関して、自発的に多様な活動を行ってもらうために、どのような仕組みづくりが必要と考えるか。
また、介護サポーター制度のさらなる拡大につなげるための取り組みは。

回答

それぞれのよろず茶屋が独自に取り組んでいる活動内容について、情報共有と意見交換を行う場を設けるとともに、市のホームページ等で活動内容を紹介するなど情報提供を行い、各よろず茶屋の多種多様な活動を支援していきたい。
介護サポーター制度については、長年の活動者に対する表彰制度を創設するなど、より意欲的に継続した活動につながるような取り組みを考えていく。



たなか よしのり

田中 義乃 議員

一真会

北陸新幹線福井開業アクションプランについて

質問

福井駅東口における業務機能等の強化を図るため、県都デザイン戦略で示された地区において、どのような事業所を誘導するのか。
また、誘導や開設のための支援策にはどのようなものがあるのか。

回答

福井駅東口での事業所開設については、ソフトウェア業、情報通信、提供サービス業、職業紹介・労働者派遣業、物品賃貸業などの業種を対象に、家賃と新規雇用への補助を行う中心市街地オフィス立地助成金を実施している。
今年度はさらに、同じ業種を対象に、日之出及び手寄の一部の区域において、事業所を開設する際の経費を補助する制度を新たに検討している。

予算特別委員会

各会派における主な質疑内容を紹介します。

一真会

見谷 喜代三 今村 辰和
泉 和弥 田中 義乃
池上 優徳

志政会

加藤 貞信 石丸 浜夫
伊藤 洋一 後藤 裕幸
瀧波 滋

○通学路の安全対策

問 平成28年8月に大東中学校周辺において、自転車通学生やドライバーの安全への意識向上を目的とした自転車走行空間モデル事業を実施したが、どのような成果があったのか。

答 モデル事業の実施前は右側通行をする生徒の割合が22.3%だったものが、1年後の平成29年9月に行った通行量調査では3.5%にまで減少し、左側通行を遵守する割合が高まっている。また、生徒やドライバーを対象にしたアンケート調査によると、生徒の76.5%、ドライバーの58.7%が、同事業の実施により安全性が高まったと認識しているとの結果であった。

○東京五輪・パラリンピックの事前キャンプ誘致

問 ホストタウンになることで、本市の子どもと各国の選手たちとの触れ合いや、宿泊施設や観光施設での経済効果が見込まれる。また、東京五輪・パラリンピック後もさまざまな交流を進めることで、新たな友好都市の布石としてほしいが、どのように考えるか。

答 ホストタウンとして事前キャンプ地の業務をしっかりと果たし、交流計画を実施していく中で、相手国の都市との交流が盛んになれば、友好都市への布石になると考えている。



市民クラブ

吉田 琴一 中村 綾菜
玉村 正人

中央公園を活用したイルミネーション作品展示

問 イルミネーションの展示会場として中央公園の広場を開放し、市民や学生、事業所などから作品を募集して展示するような事業を展開してはどうか。

答 現在整備中の中央公園では、約100基のライトアップを計画しており、夜間景観として十分楽しめる空間を提供できると考えている。また、現在、美術館の子どもアトリ工事業と連携し、親子を中心とした市民がイルミネーションのオブジェを製作してアオッサから西武福井店を結ぶにぎわい軸の付近に展示をする企画の検討を進めている。

公明党

島川 由美子

がん対策

問 国の第3期がん対策推進基本計画では、子どもにがんの正しい知識やがん経験者の生の声を伝えることが重要であるとしている。本市では学

校におけるがん教育についての取り組みを行っているか。

答 現在、小学校6年生、中学校3年生の保健の授業で、病気の予防や健康な生活といった観点からがんについて学んでいる。今後は、研修等を通じて教員のがん教育の質の向上を図るとともに、国が作成した「外部講師を用いたがん教育ガイドライン」に沿って、県と連携しながら、がん教育を実施していく。

日本共産党議員団

鈴木 正樹

中核市移行のメリットと経費

問 中核市移行に伴い約2億8,000万円が市の負担となることだが、中核市移行よりも、給付型の奨学金を創設するなど市民の切実な暮らしの応援に財源を割くべきと考えるがどうか。

答 中核市への移行は、少子高齢化、人口減少など中長期的で多様な課題に対応できるようにするためのものである。事務権限が拡大し行政機能を充実させることで、これまで以上に市民の暮らしの応援につながる多様な施策を展開できると考えている。

(12月定例会)		議案等の審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は15頁に掲載)
議案番号	件名	審議結果		
第73号議案	平成28年度福井市各会計歳入歳出決算の認定について	11月27日	認定	●
第74号議案	平成28年度福井市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	原案可決及び認定	●
第75号議案	平成28年度福井市ガス事業会計決算の認定について	〃	認定	●
第76号議案	平成28年度福井市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	原案可決及び認定	●
第77号議案	平成29年度福井市一般会計補正予算	12月19日	原案可決	●
第78号議案	平成29年度福井市介護保険特別会計補正予算	〃	〃	●
第79号議案	平成29年度福井市競輪特別会計補正予算	〃	〃	●
第80号議案	平成29年度福井市地域生活排水特別会計補正予算	〃	〃	●
第81号議案	福井市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	〃	〃	
第82号議案	福井市重度障害者(児)医療費等の助成に関する条例の一部改正について	〃	〃	
第83号議案	福井市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について	〃	〃	
第84号議案	福井市母子家庭等の医療費等の助成に関する条例の一部改正について	〃	〃	
第85号議案	福井市自転車競走実施条例の一部改正について	〃	〃	●
第86号議案	福井市国見岳森林公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃	〃	
第87号議案	福井市土地改良事業等分担金賦課徴収条例の一部改正について	〃	〃	
第88号議案	福井市営住宅条例の一部改正について	〃	〃	
第89号議案	福井市体育施設条例の一部改正について	〃	〃	●
第90号議案	福井市マイドーム清水及び福井市農園施設マイファーム清水の指定管理者の指定について	〃	〃	
第91号議案	福井市地域交流プラザの指定管理者の指定について	11月27日	〃	●
第92号議案	福井市美山楽く楽く亭の指定管理者の指定について	12月19日	〃	●
第93号議案	福井市美山森林温泉みらくる亭の指定管理者の指定について	〃	〃	●
第94号議案	福井市文化会館の指定管理者の指定について	〃	〃	
第95号議案	福井市SSTらんの指定管理者の指定について	〃	〃	
第96号議案	福井市リズムの森の指定管理者の指定について	〃	〃	●
第97号議案	字の区域の変更について	〃	〃	
第98号議案	こしの国広域事務組合の解散に伴う財産処分及び事務の承継について	〃	〃	●
第99号議案	平成29年度福井市一般会計補正予算	〃	〃	●
第100号議案	平成29年度福井市国民健康保険特別会計補正予算	〃	〃	
第101号議案	平成29年度福井市後期高齢者医療特別会計補正予算	〃	〃	
第102号議案	平成29年度福井市介護保険特別会計補正予算	〃	〃	
第103号議案	平成29年度福井市競輪特別会計補正予算	〃	〃	
第104号議案	平成29年度福井市簡易水道特別会計補正予算	〃	〃	
第105号議案	平成29年度福井市宅地造成特別会計補正予算	〃	〃	

議会報告会を開催します

市民の皆さんに開かれた議会を目指し、議会報告会を開催します。平成30年度当初予算など、重要な議案の議決結果、審議の経過について報告するとともに、市政全般について皆さんのご意見をお伺いします。事前の申し込みは必要ありません。多くの方のご参加をお待ちしております。



とき	ところ
4月 4日 (水) 19:00～	円山公民館
4月 4日 (水) 19:30～	本郷公民館
4月 5日 (木) 19:00～	足羽公民館
4月 5日 (木) 19:00～	清水北公民館
4月 6日 (金) 19:00～	社西公民館
4月 6日 (金) 19:00～	酒生公民館
4月 9日 (月) 19:30～	浜住町生活改善センター
4月10日 (火) 19:00～	順化公民館
4月10日 (火) 19:00～	清明公民館
4月11日 (水) 19:00～	松本公民館
4月11日 (水) 19:00～	一乗公民館

とき	ところ
4月12日 (木) 19:00～	河合公民館
4月12日 (木) 19:30～	殿下公民館



平成29年に開催した議会報告会の様子

議会日誌 (平成29年10月～12月)

10月4日	全国競輪主催地議会議長会正副会長・監事・相談役会議、役員会(東京都)
10日	決算特別委員会
26日	議会運営委員会
30日	北信越市議会議長会理事会、評議員会(金沢市)
11月1日	全国広域連携市議会協議会正副会長・監事・相談役会議、理事会(東京都)
6日	競輪事業対策特別委員会
7日	第2回定例福井県市町総合事務組合議会 第43回福井県自治会館組合議会定例会 福井県後期高齢者医療広域連合事務組合議会定例会
8日	全国市議会議長会第209回理事会、第103回評議員会(東京都)
9日	第29回都道府県庁所在都市議長会定期総会(松山市)
13日	福井県市議会議長会中央要望(東京都)
20日	議員全員協議会、議会運営委員会
21日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会全員協議会、第170回定例会(あわら市)

12月定例会

11月27日	本会議
28日	議会運営委員会
12月4日	本会議(一般質問)
5日	本会議(一般質問)
6日	本会議(一般質問)
7日	総務委員会、建設委員会
8日	教育民生委員会、経済企業委員会
13日	予算特別委員会
14日	予算特別委員会
15日	議会運営委員会
19日	議員全員協議会、本会議

編集後記

市民の皆様へ、よりわかりやすく議会の活動を発信したいとの思いから、市議会だより編集委員会では、毎回白熱した議論が繰り広げられています。今回の特集記事作成にあたっては、約3か月にわたり、4回の会議を重ねてまいりました。旬な話題を発信してはどうかという意見が出たことから、国体・障スポに関する記事も掲載しております。「もっとこんな記事が読みたい」などのご意見がございましたら、ぜひお聞かせください。(中村・片矢)

請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局にお問い合わせください。

傍聴してみませんか

傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

本会議

定員97人 うち車イス席6席

常任委員会

総務・建設・教育民生・経済企業

議会運営委員会

特別委員会

予算・競輪事業対策

議員全員協議会

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをおすすめします。



お問い合わせ

議会事務局 庶務課

0776-20-5506

今回は
3月定例会
です

日程はホームページで
掲載中です